

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	新潟市立児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	2025年1月31日		～ 2025年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年1月31日		～ 2025年 2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 30
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・集団療育の他、個々の課題や特性に合わせた個別療育を実施している。	・施設全体で構造化に取り組んでいる。 ・こどもの発達特性に応じてより適切な支援に繋がるよう、写真や絵カード等で表示したり、活動内容が見て分かるよう子どもの特性に合わせた環境作り等を行い療育を実施している。	・引きつづきPDCAサイクルを意識したカンファレンスを実施していく。 ・職員のアセスメント力向上を図るために実践研修を実施していく。
2	・新潟市内で唯一の市立の児童発達支援センターである。	・年に2回「児童発達支援事業所情報交換会※」を開催している。 ※市内の児童発達支援事業所が集まり、情報交換を行い顔の見える関係を築くことで連携を深められるようにしている。様々な知識を共有することで、市内の児童発達支援事業所の質の向上を図っている。 ・事業所向けや保護者並びに市民向けの講座を実施している。	・市内の児童発達支援事業所や保育所などの子育て支援施設に向けて当センターの研究報告(実践報告)を年に1回実施することで、新潟市の障がい児支援の質を高めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常時等の対応について保護者への周知が足りないと感じる。	・「災害時の対応について」の説明を入園時のみにしか行っていなかった。 ・日々の連絡帳やおたよりで、避難訓練時のこどもたちの様子やねらい等を伝えている。	・非常時の対応についてのマニュアルをICTサービスの「コードモン」の機能を利用し、常時閲覧できるようにするとともに保護者に周知する。
2	・行事や保護者講座の開催等、保護者への支援は実施しているが、きょうだいに特化した支援は、実施していない。	・きょうだいに関する個別の相談に応じる対応にとどまっている。	・保護者やきょうだいのニーズを把握し、相談に応じる他、ニーズに応じ社会資源の情報提供をする。 ・「きょうだい」をテーマとした座談会等を実施し、個々のエンパワメント力を高めていく。
3			